



一般社団法人 静岡県安全運転管理協会



各地区安管協会の活動紹介

「交通死亡事故現場診断」を実施（令和4年5月中）

細江地区安全運転管理協会は、地区内で発生した交通死亡事故の再発防止を期して、本年5月中に管轄警察署の「交通死亡事故現場診断」に参加し、事故防止対策を協議しました。

【 細 江 地 区 】

5月12日(木)、細江警察署の呼び掛けで、浜松市役所、北区役所、北土木整備事務所、自治会、安協細江地区支部等の関係団体とともに、細江地区安全運転管理協会から本年度安管推進事業所の「金子コード(株)浜松工場」、「スズキ(株)浜松工場」の安全運転管理者、事務局員3人が参加、合計23人により

4月22日(金)夕方、浜松市北区三ヶ日町地先の国道で発生した交通死亡事故（貨物自動車と軽四乗用車との正面衝突事故、軽四に乗っていた男女2人が死亡）の事故現場診断を行いました。

この事故現場は、片側1車線の緩やかにカーブする道路で、T字路交差点に差しかかる直前で衝突しており、現場診断及び事故防止対策を協議した結果、

- センターラインの引き直しやセンターポールの設置を検討する。
- カーブ付近の建物で対向する車が少し見えにくいため、スピードを控えるように注意喚起する看板等を設置する。
- 参加団体で通行者や事業所従業員に対する交通安全広報を実施する。

など、活発な意見が出されました。



【亡くなられた方へ参加者で黙とう】



【細江署交通課長による事故状況説明】



【事故現場の状況】



【参加者による現場診断】



【事故防止対策協議で意見を発表】
「金子コード㈱」安全運転管理者
(写真前列向かって右側)



【事故防止対策協議で意見を発表】
「スズキ㈱」安全運転管理者
(写真向って左側)